頂～いただき～

全国学学状況調査分析版
富士市立大淵中学校
令和８年 10 月 13 日



○小中一貫教育ビジョン「自ら学び、高め合う大淵の子」
○学校教育目標「自分から、自分たちへ」
○ 重 点 項 目「受心と発心」

◇　今月の花：ユーカリ　ピンクッション　オーニソガラム　黄小菊　河合祐子様(片倉在住)が本校玄関に生けてくださっています。　ありがとうございます。

全国学力・学習状況調査の分析

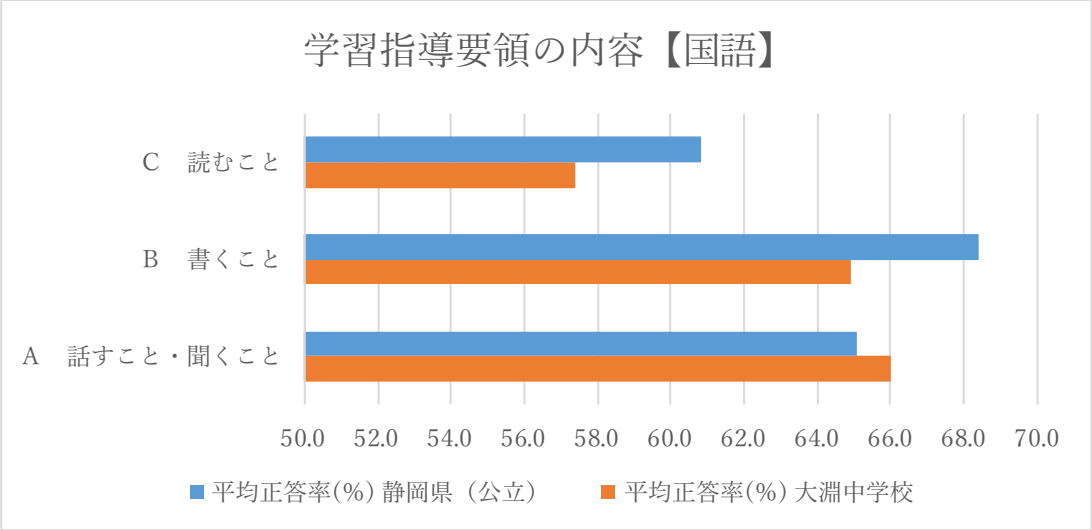
４月 21 日（火）および 23 日（木）に、中学３年生を対象に、国語・数学・英語の全国学力・学習状況調査が行われました。本校では、全国学力・学習状況調査の結果について、学校の教育活動を振り返り、改善につなげるための資料として活用しています。また、子どもたちの学習の状況や学校の取組について、保護者や地域の皆様にご理解いただくことも大切であると考えています。
そこで、本号では本校の調査結果の概要と課題、今後の取組についてお知らせします。なお、本調査は子どもたち一人一人の学力の一部分を示すものであり、学校教育全体を評価するものではありません。結果を真摯に受け止め、今後の授業改善や学習支援の充実に生かしてまいります。

全国学力･学習状況調査とは

全国学力・学習状況調査は、小学６年生と中学３年生を対象に行われています。
文部科学省や教育委員会が全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることが目的です。学校には、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることが求められています。
この調査は、「教科に関する調査」と、生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」で構成されています。「教科に関する調査」は、「知識・技能、思考力・判断力・表現力等は、相互に関係し合いながら育成されるもの」という新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎知識と活用力を一体的に問うように構成されています。

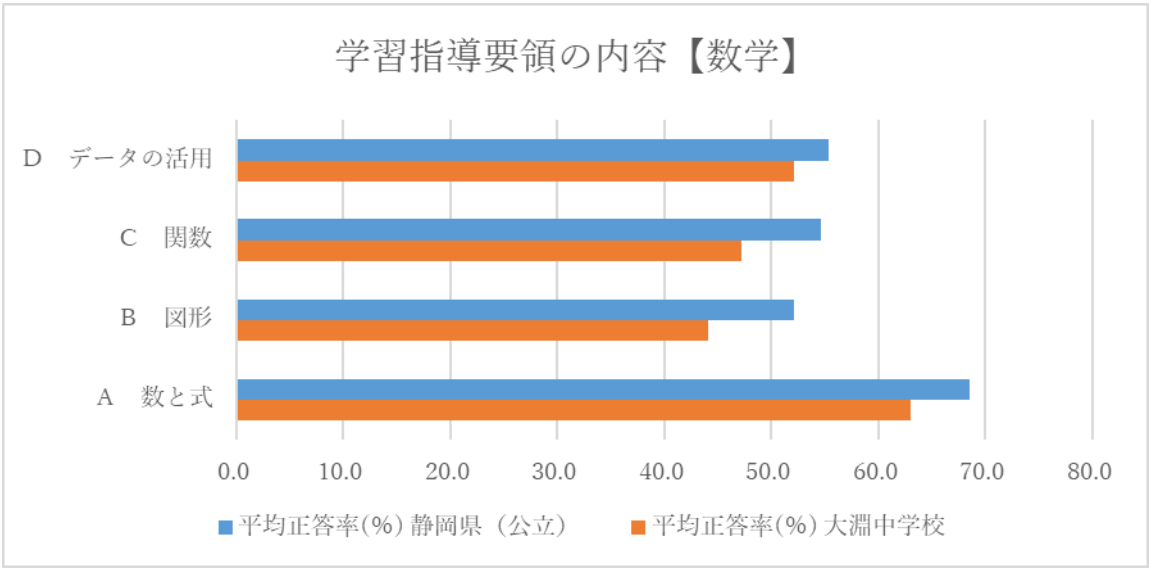
本校の調査結果と課題

1　国語から



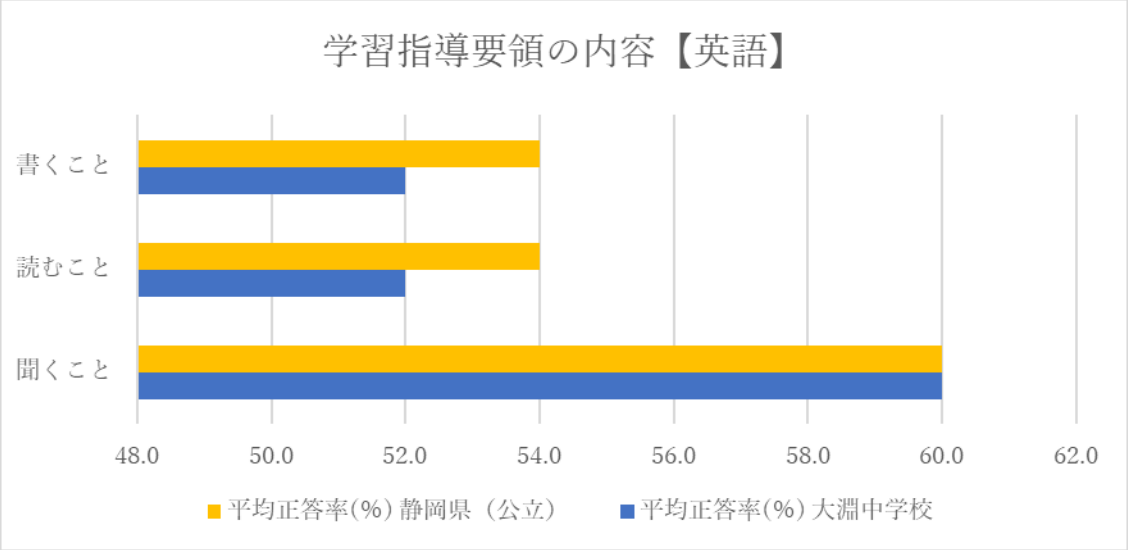
「話合いを受けて整理したタブレット端末の画面の内容を説明したものを選択する問題」や「話合いにおける発言の内容について説明したものを選択する問題」では、本校の平均正答率が県平均・全国平均を上回っており、必要な情報を整理し、内容を正確に理解する力が身に付いています。また、多くの問題で無解答率が低く、生徒が最後まで粘り強く解答しようとする姿勢が見られます。一方で、自分の考えや感じたことについて、根拠を明確にしながら文章で表現する力には課題が見られます。今後は、文章の構成や理由・根拠を意識して書く活動を積み重ね、自分の考えを分かりやすく表現する力の向上を図っていきます。

2　数学から



「正負の数」「同類項」「確率」などの基礎的な知識・技能問題では、本校の平均正答率が全国平均や県平均を上回る問題が見られ、基礎事項の定着が図られています。また、多くの問題で無解答率が低く、生徒が最後まで問題に取り組もうとする姿勢が見られます。一方、合同や証明、図形の性質を根拠に基づいて説明する力に課題が見られます。「方法を説明する」「理由を説明する」「証明する」といった思考・判断・表現を問う問題の正答率が低い傾向があります。今後は、数学的な性質や考え方について、根拠を明確にしながら説明したり証明したりする活動を充実させ、思考力・判断力・表現力の向上を図っていきます。

3　英語から



学校見学の説明を聞く問題や職場体験の発表を聞く問題では、必要な情報を聞き取り、内容を理解する力が身に付いています。また、メールを読んで時刻を選ぶ問題やウェブサイトを選ぶ問題では、目的に応じて必要な情報を読み取る力が高いことが分かります。聞くこと・読むことでは県平均を上回る問題が多い一方で、自分の考えや理由を整理し、まとまりのある英文で表現する「書くこと」に課題が見られます。今後は、身近な話題について自分の考えや理由を 2～3 文程度の英文で書く活動や、書いた英文を互いに読み合い改善する活動を充実させ、表現力の向上を図っていきます。

4　学習状況調査（生徒質問紙）から

生徒は友達と協力して課題解決に取り組む意識が高く、学級活動でも話合いを通してよりよい学校生活づくりに参加する姿勢が見られます。また、自分から課題に取り組もうとする意識も高く、互いを尊重しながら協働的に活動する集団づくりが進んでいます。一方で、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒の割合は全国平均を下回っており、自己肯定感や自己有用感に課題が見られます。

５　まとめ

本校の生徒は、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりして内容を理解する力や、基礎的な知識・技能が身に付いています。また、多くの問題で無解答率が低く、最後まで粘り強く取り組む姿勢が見られました。そして、本校の生徒は、学習に対する意欲や粘り強く取り組む姿勢、友達と協力して課題解決に取り組む意識が高く、学級活動や話合い活動を通して学校生活をよりよくしようとする意識が育っています。一方で、自分の考えや理由を根拠に基づいて説明したり、文章や数学的表現、英語でまとまりのある内容を書いたりする力に課題が見られます。そして、自分のよさや将来への見通し、学校生活への満足感、学習への自己調整力については課題が見られます。今後は、自分のよさに気付き、自信をもって学びや生活に主体的に取り組み、仲間と協働しながら未来を切り拓く生徒の育成を目指していきたいと考えます。